

先輩が描いた壁画と地下道を清掃

富士宮東高男子バスケットボール部



東高前の地下道を清掃

静岡県立富士宮東高(長)の男子バスケットボール部(野秋宜成校長)は29日、同校前の地下通路(第5号地下横断歩道)の清掃活動に汗を流した。松藤部長をはじめ部員らが、地下道の汚れが気になりきれいにしたいという思いから、夏季休業の登校日を利用して、ボランティアで清掃活動を展開した。長さ約40m×幅約2mの地下道の壁には、芸術コースの卒業生らが壁画を描き、宇田や海中にいる魚やタコ、クジラなど、カラフルな色合いで楽しい絵画が描かれている。清掃には1・2年生約10名が参加。ホウキを

使って掃き掃除、バケツで磨き上げるなどの作業を行った。松藤部長は「小さな地下道をデッキブラシで磨き上げるなどの作業を行った。松藤部長は「小さな地下道をデッキブラシ



東高前の地下道を清掃した東高男子バスケットボール部

影島顧問は「2、3年生は総合的な研究の時間にSDGsについて学びを深めている。持続可能な開発目標の実践として、ボランティアで清掃活動を行った。今後も校内清

掃活動等にSDGsの実践に取り組みたい」などと語った。

夏休み自由研究応援隊 子どもたちにSDGs講座

富士宮市立西公民館 富士宮高校会議所

富士宮市立西公民館が主催する夏休み自由研究応援隊「富士宮高校会議所」が25日、西公民館で小学生向けのSDGs講座を開催した。講師は、富士宮高校会議所が取り組むSDGs実践活動「SDGs実践(けんぴ)」をテーマに、小学生を



風力でLEDライトを点灯

前に参加した高校生メンバーが自己紹介をした。続いて、高校生の講話や実験を通して、持続可能なエネルギーについて学びを深めた。はじめに、小学生を

堆肥コンテスト入賞農家の堆肥を無料配布



堆肥の無料配布を待つ来場者

富士宮市畜産振興推進協議会は27日、JFA富士宮ファーマーズマーケット「う宮」にて、市内の畜産農家が生産した良質な堆肥を無料配布した。肥料を、野菜苗と合わせ無料で配布した。富士宮市は、畜産業が盛んに営まれることから、良質な堆肥が豊富に供給されること

土づくりに比べて、土が良質になって植物の生育に大きな効果がある。富士宮市を中心として、令和2年度から加工キヤベツ栽培に力を入れている。持続可能な農業の推進に取り組んでいる。



1人2袋まで無料配布

今回配布した堆肥は、令和元年の堆肥共同会(富士宮地域の堆肥コンテスト)で特別賞に輝いた中野学さん(村山)の約2トンの堆肥と、キウリとナスの苗をそれぞれ50本ずつ用意。配布は15日午前10時から同会場同時。4回目まで、野菜苗を1人1苗を無料で配布。午前10時の配布時間にもかかわらず、1番目の来場者は午前9時から並び、人気となり、開始時間には長い列となった。時折小雨が降る中、配布時間の午前10時と同時に、市職員らがスコップなどで白い袋に入った堆肥と野菜苗を届けている。

次回は8/17に開催



高校会議所メンバーと参加した小学生たち

SDGsについてのクイズでは、積極的に答えを述べて正解する子どもたちの姿が多く見られ、子どもたちの関心の高さが感じられた。風力発電装置の作成では、ペットボトルを切り羽根を作る作業では、高校生のお兄さんお姉さんたちと一緒に、楽しみながら制作した。完成すると、扇風機の風力で発電してLEDライトが点灯すると、感動して完成を喜び合った。

フレイル予防講座 ~10年後のわたしのために~

8月3日(火)申込開始

市健康増進課は9月7日から10月5日までの火曜日の全5回、「フレイル予防講座」を上井出張所で開催する。同講座は、高齢期に陥りやすい「フレイル(心身の活力の低下)」を予防・改善するため、口腔ケアや食生活・認知症予防等の講話と筋力アップの運動をする。

市内新規新型コロナウイルス感染者状況

市内では7月28日(水)に新規新型コロナウイルス感染者2名が確認され、これら2名が確認された。新規感染者数は190名となった。

杉田地区で停電事故発生

東京電力パワーグリッド(株)静岡総務課は29日(木)、東部エリア(富士宮市内)で停電事故が発生したと発表した。停電は29日(木)15時47分、市内杉田地区で発生し、同日17時08分には復旧した。発生原因は雷の影響によるもの。

亡くなった方

坪井善子(82) 北山4952番地
石岡國市(83) 山宮1031番地の19